

東日本ユニオシ NEWS

JR東日本労働組合 発責 教育・広報部 2021年6月8日 No.329

夏季手当シリーズ(A) 第2回団体交渉で議論を交わす! 社員が生きていくための土台は賃金・手当だ!

<経営側の主張>

- ・売り上げを伸ばして収益を拡大し、それを「社員に還元する」とした好循環をどのよう につくるのかが重要
- ・社員の自己実現や成長を通じて会社の成長を実現し、最終的に社員の還元につながる
- ・賃金は労働条件の最たるもの。ただし、賃金だけが要素ではなく、労働条件の 1 つの要素である

【東日本ユニオンの主張】

- ・会社による成長機会を通じて自己実現により、幸福や働きがいを実感することもある。 しかし、私たちはJR東日本の社員としての立場だけで生きているのではない。1人の消費者、生活者としての立場もある!
- ・働くことの動機付けの出発点は賃金・手当を得て生活することだ。賃金・手当を土台に IR東日本の社員として自己実現や成長ができる!
- ・納得できる賃金・手当を得る。その土台の上で社員は成長にむけたチャレンジができる
- ・労使共通の目的は「会社のため」ではない。「会社の発展のため」である!

会社の発展のため、生きていくためには2.8ヶ月満額回答が必要だ!

コロナ禍でも創意工夫した取り組みで各地から消滅回答を求める取り組みが盛り上がる!



新潟車両センター分会



東京地方本部



長野支部